

別表3

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
旭物産(株)	防火設備	網入板ガラス入アルミニウム合金製引違い窓	平成14年5月22日	EB-0115	【戸車(固定戸車)】認定仕様はポリアセタール樹脂であるが、製品はステンレス鋼板であった。	1棟 (店舗)
		網入板ガラス入アルミニウム合金製引違い窓	平成16年3月9日	EB-0174	【戸車(固定戸車)】認定仕様はポリアセタール樹脂であるが、製品はステンレス鋼板であった。	32棟 (店舗、集合住宅)
湯田木工(株)	防火設備	複層ガラス入木製両開き戸	平成17年9月27日	EB-0282	【戸当たりゴム】認定仕様はEPDM製(70±5g/m)であるが、製品は熱可塑性エラストマー(60±5g/m)であった。 【くつずり枠上ゴム】認定仕様はEPDM製であるが、製品はPVC製であった。 【留付け材(ガラス額縁(室内側)用)】JIS B 1112には直径2.6mm×長さ30mmの寸法は存在しないが、認定書に直径2.6mm×長さ30mm(JIS B 1112)と誤って記載した。 【留付け材(枠材用)】JIS B 1112には直径4.2mm×長さ65mmの寸法は存在しないが、認定書に直径4.2mm×長さ65mm(JIS B 1112)と誤って記載した。	134棟 (戸建住宅)
(株)アイランドプロファイル	防火設備	複層ガラス入木製はめ殺し窓	平成13年12月25日	EB-0033	【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は1.5mmであった。	約30棟 (戸建住宅)
		網入板ガラス入木製内開き内倒し窓	平成13年12月25日	EB-0061	【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は1.5mmであった。	約10棟 (戸建住宅)
		網入板ガラス入木製引違い窓	平成13年12月25日	EB-0089	【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は1.5mmであった。	約50棟 (戸建住宅)
ユニチカ設備技術(株)	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(準耐火構造壁・床付き)	平成19年3月14日	CAS-0328	EA-0233の【ケース補強材】を除き、EA-0233と同じ	約220棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン/複合防火設備(準耐火構造壁・床付き)		CAS-0329	EA-0233の【ケース補強材】を除き、EA-0233と同じ	約20棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		CAT-0327	EA-0233の【ケース補強材】を除き、EA-0233と同じ	1棟 (共同住宅)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(準耐火構造壁・床付き)	平成19年11月12日	CAS-0359	EA-0242と同じ	約220棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		CAT-0358	EA-0242と同じ	2棟 (共同住宅)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカガラスファイバー(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂コーティングシリカクロス製スクリーン(避難口付き)	平成14年1月21日	EA-0021	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(化粧材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【幕板】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様は配管用ステンレス鋼管であるが、製品は熔融亜鉛めっき鋼板及びステンレス鋼管又は熔融亜鉛めっき鋼板であった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス棒鋼(JIS G 4303, SUS304)直径6.0mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)厚さ2.0mmであった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mmであった。冷間圧延鋼板(JIS G 3141)にはSS400の鋼種は存在しないが、認定書に冷間圧延鋼板(JIS G 3141,SS400)と誤って記載した。</p>	約1,050棟 (共同住宅、事務所等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂コーティングシリカクロス製スクリーン(避難口付き)	平成14年5月13日	CAS-0001	<p>【ブラケット】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141,SPCC)厚さ3.2mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mmであった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141,SPCC)厚さ2.3mm、長さ57mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>※上記2項目以外はEA-0021と同じ</p>	約90棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付き)	平成14年8月22日	CAT-0008	CAS-0001と同じ	実績なし
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付き)／複合防火設備	平成14年9月5日	CAS-0010	CAS-0001と同じ	約960棟 (共同住宅、事務所等)
	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成14年5月1日	EA-0032	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(鋼帯)(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熔融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302(SGHC)又はSGHC相当鋼)であった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【幕板】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様は配管用ステンレス鋼管であるが、製品は熔融亜鉛めっき鋼板及びステンレス鋼管又は熔融亜鉛めっき鋼板であった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス棒鋼(JIS G 4303, SUS304)直径6.0mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)厚さ2.0mmであった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mmであった。冷間圧延鋼板(JIS G 3141)にはSS400の鋼種は存在しないが、認定書に冷間圧延鋼板(JIS G 3141,SS400)と誤って記載した。</p>	約30棟 (共同住宅、病院等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術㈱ ユニチカガラスファイバー㈱	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成14年11月26日	CAS-0018	EA-0032と同じ	実績なし
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成14年8月23日	CAT-0009	EA-0032と同じ	実績なし
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付き)／複合防火設備	平成15年2月28日	CAS-0038	EA-0032と同じ	約30棟 (共同住宅、病院等)
	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年5月8日	EA-0077	【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302(SGHC)又はSGHC相当鋼)であった。 【巻取りシャフト】認定仕様は直径114.3mmであるが、製品は139.8mmであった。 【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。	20棟 (事務所、店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン／複合防火設備	平成15年8月12日	CAS-0081	【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(鋼帯)(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302(SGHC)又はSGHC相当鋼)であった。 【ブラケット】認定仕様は厚さ 3.2mmであるが製品は4.5mm又は6.0mmであった。 ※上記2項目以外は、EA-0077の【巻取りシャフト】を除き、EA-0077と同じ	6棟 (事務所、店舗等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		CAT-0079	CAS-0081と同じ	実績なし
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン／複合防火設備	平成16年11月24日	CAS-0170	CAS-0081と同じ	14棟 (事務所、店舗等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカガラスファイバー(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年9月3日	EA-0091	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(本体)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(鋼帯)(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熔融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302(SGHC)又はSGHC相当鋼)の部分があった。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熔融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302(SGHC)又はSGHC相当鋼)であった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mmまたは6.0mmであった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)であるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6.0mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。</p>	約620棟 (事務所、店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン/複合防火設備	平成15年12月12日	CAS-0098	<p>【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(鋼帯)(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熔融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302(SGHC)又はSGHC相当鋼)であった。</p> <p>※上記1項目以外はEA-0091と同じ</p>	約620棟 (事務所、店舗等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		CAT-0096	CAS-0098と同じ	実績なし
	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成16年1月9日	EA-0110	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(本体)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(鋼帯)(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熔融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302(SGHC)又はSGHC相当鋼)の部分があった。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熔融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302(SGHC)又はSGHC相当鋼)であった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mm又は6.0mmであった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)であるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6.0mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。</p>	4棟 (事務所・店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成16年5月28日	CAT-0137	EA-0110と同じ	4棟 (事務所・店舗等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカガラスファイバー(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成16年8月10日	EA-0134	【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(開口部)】認定仕様にはない溶融亜鉛めっき鋼板が使われていた。 【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mm又は6.0mmであった。 【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)であるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であった。 【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6.0mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。	3棟 (共同住宅等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成16年11月24日	CAT-0168	EA-0134と同じ	実績なし
ユニチカ(株) ユニチカ設備技術(株)	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)／複合防火設備	平成17年7月13日	CAS-0190	EA-0134と同じ	3棟 (共同住宅等)
	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成17年12月1日	EA-0181	【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(本体)】認定仕様にはない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(SGH400,SGHC))が使われていた。 【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(SGH400,SGHC)又はSGHC相当鋼)であった。 【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mmであった。 【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板化粧カバー】認定仕様にはない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(SGH400,SGHC)又はSGHC相当鋼)が使われていた。 【座板化粧カバー受け】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ1.6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ1.5mmであった。 【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)であるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であった。 【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6.0mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。	約350棟 (事務所、店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成17年12月1日	CAT-0205	EA-0181の【ブラケット】を除き、EA-0181と同じ	約20棟 (工場、倉庫等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ(株) ユニチカ設備技術(株)	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)／複合防火設備	平成17年12月1日	CAS-0207	EA-0181と同じ	約330棟 (事務所、店舗等)
	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成18年3月27日	EA-0199	【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(開口部)】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(SGH400,SGHC又はSGHC相当鋼)が使われていた。 【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mmであった。 【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板化粧カバー】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(SGHC,SGH400)又はSGHC相当鋼)が使われていた。 【座板(化粧カバー受け)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ1.6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ1.5mmであった。 【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)であるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であった。 【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6.0mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。	3棟 (事務所、店舗)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成18年6月21日	GAT-0282	EA-0199の【ブラケット】を除き、EA-0199と同じ	1棟 (事務所)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)		CAS-0284	EA-0199の【ブラケット】を除き、EA-0199と同じ	2棟 (店舗等)
ユニチカ設備技術(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成18年3月27日	EA-0197	【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(開口部)】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(SGH400,SGHC又はSGHC相当鋼)が使われていた。 【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400,SGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板化粧カバー】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(SGH400,SGHC)又はSGHC相当鋼)が使われていた。 【座板化粧カバーコーナーユニット】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302(SGH400,SGHC)又はSGHC相当鋼)が使われていた。 【座板化粧カバー受け】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ1.6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ1.5mmであった。 【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)であるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であった。	19棟 (店舗等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株)	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成18年6月21日	CAT-0286	EA-0197と同じ	3棟 (店舗、工場)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)		CAS-0288	EA-0197と同じ	16棟 (店舗等)
	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成20年4月3日	EA-0257	【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400であった。 【座板(開口部)】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(SGH400,SGHC又はSGHC相当鋼)が使われていた。 【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400であった。 【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400であった。 【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400であった。 【座板化粧カバー】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGH400)が使われていた。 【座板化粧カバーコーナーユニット】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGH400)が使われていた。 【座板化粧カバー受け】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ1.6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ1.5mmであった。 【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)であるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であった。	13棟 (店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成20年6月9日	CAT-0405	EA-0257と同じ	1棟 (店舗)
両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)(準耐火構造壁・床付き)		CAS-0406		EA-0257と同じ	12棟 (店舗、工場等)	
ユニチカ設備技術(株) ユニチカガラスファイバー(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成14年5月10日	EA-0034	【ガイドレール】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【座板 芯材】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【シャフトベース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。 【シャフトケース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【幕板】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。	約350棟 (共同住宅、病院等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成14年7月19日	CAS-0007	EA-0034と同じ	約350棟 (共同住宅、病院等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカガラスファイバー(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年2月7日	EA-0066	【ガイドレール】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【座板(芯材)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【シャフトベース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。 【シャフトケース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【幕板】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。	約60棟 (共同住宅、病院等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年5月8日	CAS-0050	EA-0066と同じ	約60棟 (共同住宅、病院等)
	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年7月7日	EA-0084	【ガイドレール】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)であった。 【座板(芯材)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)であった。 【ケース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)であった。 【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。 【カバー】認定仕様がない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)厚さ1.6mmが使われていた。	約580棟 (共同住宅、病院等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年9月3日	CAS-0083	EA-0084と同じ	約470棟 (共同住宅、病院等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年9月12日	CAT-0090	【ガイドレール(化粧カバー)】認定仕様がない熱間圧延鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)が使われていた。 ※上記1項目以外はEA-0084と同じ	15棟 (共同住宅、病院等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン/複合防火設備	平成15年9月3日	CAS-0084	CAT-0090と同じ	1棟 (共同住宅)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン/複合防火設備	平成15年9月19日	CAS-0091	CAT-0090と同じ	約90棟 (共同住宅、病院等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカガラスファイバー(株)	防火設備	両面アクリル系樹脂塗装ガラスクロス製スクリーン／複合防火設備	平成16年5月28日	CAS-0139	【ガイドレール】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。 【座板(本体)】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。 【座板(芯材)】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。 【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。	約60棟 (共同住宅、事務所等)
ユニチカ設備技術(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成17年2月21日	EA-0161	【ガイドレール】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。 【座板(本体)】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。 【座板(芯材)】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。 【ケース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。 【軸受けブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は6.0mmであった。 【カバー】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)が使われていた。 【浮上り防止ストッパー】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)であった。	約960棟 (共同住宅、事務所等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン／複合防火設備	平成17年4月7日	CAS-0181	EA-0161と同じ	約190棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		CAT-0182	EA-0161と同じ	4棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン／複合防火設備	平成17年12月1日	CAS-0210	EA-0161と同じ	約740棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		CAT-0209	EA-0161と同じ	約20棟 (共同住宅、事務所等)